国会論戦の詳報

31日の衆参予算委集中審議から

<本文記事4面>

衆参両院の予算委員会で31日に行われた「内外の諸課題」に関する集中審議の主なやり取りは次の通り。衆院の質問者は、中山泰秀（自民）、太田昌孝（公明）、無所属の山井和則、国民民主党の奥野総一郎（以上、立国社）、塩川鉄也（共産）、浦野靖人（維新）の6氏。参院の質問者は、中西健治（自民）、立憲民主党の石橋通宏、国民の矢田稚子（以上、立国社）、伊藤孝江（公明）、柳ヶ瀬裕文（維新）、大門実紀史（共産）の6氏。

※「立国社」は、衆院の野党共同会派「立憲民主・国民・社保・無所属フォーラム」、参院の野党共同会派「立憲・国民、新緑風会・社民」の略称。

国民・奥野氏

自民・中山氏

共産・塩川氏

公明・太田氏

維新・浦野氏

無所属・山井氏

首相 入管強化するべく検討

■新型肺炎

中山氏　世界保健機関（WHO）が「国際的な公衆衛生上の緊急事態」を宣言した。感染症法上の措置を急ぎ、（中国・武漢市などから邦人を帰国させた）チャーター機の費用は政府が負担すべきだ。

安倍首相　感染者に対する入院措置や公費による適切な医療などを可能とするため、28日、新型コロナウイルスに関する感染症を感染症法上の「指定感染症」に指定し、当初2月7日から施行予定だったが、WHOの宣言を受けて短縮し、1日より施行する。

これにより、我が国に入国しようとする者が感染症である場合は入国を拒否する。感染者であることが確認できない場合でも、入国管理を強化するべく、運用について速やかに検討する。

今回のチャーター機による退避については、運賃（約8万円）を政府が負担する方向で検討する。引き続き、国民の生命と健康を守ることを最優先に、やるべき対策を躊躇なく決断し、実行していく。

太田氏　中国政府への支援について可能な限りの対応を求めたい。

茂木外相　チャーター機にマスクや防護服などの物資を搭載して現地に届けている。引き続き可能な限りの支援をしていきたい。

山井氏　取り組みが後手後手に回っているのではないか。指定感染症の施行の前倒しを決定したことは評価したいが、なぜ遅れたのか。

加藤厚生労働相　周知期間として10日間を置いた。ただ、国内で人から人への感染例が発生し、WHOで緊急事態の判定があり、それなりの周知も図られてきている。それらを総合的に勘案して1日施行の準備をしている。

外相　邦人の帰国のオペレーションは他国と比べ、日本が最も早い。現地で交通網が遮断されるなど難しい状況の中で最大限努力しているつもりだ。

山井氏　請外国は帰国者を一時隔離する措置を取っている。日本でも措置を取るべきだ。

厚労相　我が国の法体系でも隔離をできる規定はある。ただ、病原体の感染力が大変高く、致死性や重篤性が非常に大きい状況で初めて隔離する。人権との絡みがあるので、慎重に検討しなければいけない。

山井氏　帰国者は全員、国の施設に入ったのか。

厚労相　1便と2便で帰った方は現在、私どもが確保した宿舎にいる方、病院に入っている方を除くと、3人が自宅で過ごしている。3人にもほぼ毎日、健康状態などの確認の電話をしている。当初、ウイルス検査を拒否していた2人は検査を受けた。

奥野氏　水際で食い止めるかどうかの瀬戸際だ。（武漢市などから）帰国した方は2週間、人と接しない自主的停留措置を求めてはどうか。結果責任が問われる。

首相　現状をしっかりと把握しながら法令にのっとって、やるべき対策を全てやっていきたい。

中西氏　WHOの緊急事態宣言を受けた我が国の対策強化について伺う。

首相　湖北省を除く中国全土に対する感染症危険情報を、不要不急の渡航の自粛を求めるレベル2に引き上げることとした。

柳ヶ瀬氏　武漢からの入国を制限する立法措置を早急に検討する必要がある。

森法相　感染症の患者であることが確認できない場合の対応については、関係省庁と検討中だ。

浦野氏　インターネットのデマへの対策は。

厚労相　様々なデマが流されていることを常に認識し、国民に正確な情報がタイムリーに届くように努力していきたい。

■日米同盟

中山氏　今年は（現在の）日米安全保障条約の署名から60周年だ。日米関係を含め、どう発展させていきたいか。

首相　（集団的自衛権の限定行使を認める）平和安全法制（安全保障関連法）によって、助け合うことができる同盟になった。助け合うことのできる同盟は、より絆を強くする。日米同盟をインド太平洋地域と世界の平和と安定のために生かしていきたい。

■普天間飛行場の移設

石橋氏　（移設先の）沖縄県名護市辺野古で超軟弱地盤の存在が確認された。埋め立て工事を即刻中止すべきだ。

首相　具体的な設計は、沖縄防衛局で有識者の知見も得つつ、検討が行われている。日米同盟の抑止力の維持と普天間飛行場の危険性の除去を

衆院予算委員会の集中審議で答弁する安倍首相（31日午前、国会で）＝源幸正倫撮影

山井氏 武漢帰国 一時隔離を

公明・伊藤氏

自民・中西氏

維新・柳ヶ瀬氏

立民・石橋氏

共産・大門氏

国民・矢田氏

「桜」領収書 資料で出して

石橋氏

■桜を見る会

山井氏　首相が毎年、年始に（地元の山口県）下関市や長門市でされている新春の集いは政治資金収支報告書に記載されている。安倍晋三後援会主催の前夜祭の合意に基づき、会場入り口の受け付けで、ホテル側職員立ち会いの下、私の事務所の職員が1人5000円を集金し、ホテル名義の領収書をその場で手交し、受け付け終了後に集金した払いがなされた。ホテルとの契約主体は参加者個人になると認識している。

私の後援会主催の新年互礼会は後援会が領収書を出し、入金と支出がある。当然それは収支報告書に書くされており、違いは明確だ。

石橋氏　領収書を資料として出してほしい。

首相　私の事務所の職員は、参加者とホテル側との間の参加費のやり取りを仲介したもので、ホテル側との契約の当事者はあくまでも個々の参加者だ。領収書の写しの提出をホテル側に求めることは困難だ。

太田氏　桜を見る会に対し、野党各党の指摘に答える政府の姿勢に対する批判人事課長によって記載事項が一部消去されていた。国会軽視とのそしりは免れない。再発防止の考えは。

首相　桜を見る会に関連し、内閣府で行政文書の保管や廃棄における不適切な取り扱いや、国会に提出した資料について文書の趣旨を正しく伝えるためとはいえ、記載の一部を消去する不適切な対応があったことは誠に遺憾だ。今後、各府省におけるチェックの強化

■統合型リゾート（IR）

塩川氏　安倍首相は2014年、シンガポールでIRカジノを視察し、「IRは日本の成長戦略の目玉になる」と述べた。カジノを持ち上げた首相は安倍首相が初めてだ。その結果、回のカジノ汚職が起きたカジノを推進した責任がある。

首相　14年にシンガポールでIRを視察した後、年に超党派の議員連盟が